

## VICTORY PSYCHOLOGY

今、君の目の前にあるビルも自動車もコンピューターも、すべて人間が造ったものである。それは、この地球上に太古からあった materials (鉄・銅・木・石油……) と人間の思考との結合である。

文明とは、materials の中に吹き込まれた人間の思考のことに他ならない。さらに人間は自らの思考を用いて法律を作り、憲法を作り、会社組織を作り、社会制度を作り、そして一切の人間の諸関係の総体を造り上げてきた。これこそが人間にとっての「現実」であり、人間は常にこの中で生き続ける。よって、「思考は現実より、現実的である」。

思考があって、しかる後に世界が存在する。君の現実が、君の思考を作り出すのではなく、君の思考が、君の現実を作り出すのである。

従って、まず問うべきなのは、「君自身が、君のことをどう考え (思考し) ているのか」ということである。

肯定的・積極的 (positive) な思考を続けている人は、あらゆる場面において、成功と勝利を収めることができるのに反し、否定的・消極的 (negative) な思考を懐 (いだ) いている人は、ことごとく失敗と敗北に出会うことになる。

人は、それを「運」と呼ぶ。しかし「運」を作り出すのは実は自分自身である。だから、古人は言っている、

「運は心にあり」と。

America 最大の哲学者 Ralph Waldo Emerson が、

Man is what he thinks.

と言ったのもこの意味である。

人間は、不幸になるためにこの地球上に生まれて来たわけではない。幸福で豊かになるために生まれて来たのである。人間はもともと完全に自由であり、自分が望む通りの現実を造り出す力を持っているのである。

大事なことは、positive mind を持つことだ。まずそれが第一歩であり、ここから君の歴史が始まる。

次に必要なことは、positive mind をただちに、positive action に結び付けることである。

今すぐ行動せよ。

positive mind と positive action が結びついた時にのみ、すべての成功と勝利は生まれるのである。

一見、外的障害に思えるものも、実は君の心が生みだした影に過ぎない。君が大望を口にする時、木と草と風と川が、君の耳もとでささやき続ける、

「そんなことは不可能だ」と。

そんな言葉を「君の若き心」が受け入れてはならない。

革新とは常識を壊すことである。

人類のすべての発明と発見は、その時代の常識に挑戦するところから始まったのである。人間は本来、望む通りの現実を手に入れることのできる存在であるが、特に 20 才前後の青年にとって、「固定した現実」などというものは存在しない。

**この地上に存在するすべてのものは、君の力で変えることができる!**

Victory and Success through your positive mind  
and positive action !

..... *Message from Hideaki Aonuma*  
(初代塾長 青沼秀明)

# 目次

## 1 : 青沼英語塾のシステム・チャート

< 1 > 学年とクラス	6
< 2 > 年間授業日程	7
< 3 > 配布物について	8
< 4 > 座席番号と定員	8
< 5 > 教室内設置届出文書	9
< 6 > 教室グループ制	10
< 7 > 塾への連絡について	11
< 8 > クラス変更と欠席時の対処	12
< 9 > 他教科の勉強法	13
< 10 > 緊急時の対処について	14
< 11 > 進学指導	14
< 12 > 提出課題	15
< 13 > 模擬試験について	15

## 2 : 授業を受けるにあたって

< 1 > 授業前に実施すること	18
< 2 > 欠席した場合の処置	18
< 3 > 遅刻した場合の処置	19
< 4 > 退室時にすること	19
< 5 > ノートについて	20
< 6 > 授業に持参するもの	21
< 7 > 特に注意すべき項目	22
< 8 > マイページについて	24
< 9 > 単語テストについて	26
< 10 > 熟語テストについて	29

## 3 : 教材と勉強のしかた

< 1 > 直読直解について	30
< 2 > [高3] 文法テキストについて	30
< 3 > [高3] 講義録について	32

< 4 > [高3] 夏期の予習の仕方	36
< 5 > [高3] TRL training と和文英訳テスト	39
< 6 > [高3] 2学期の予習の仕方	43
< 7 > [高3] 冬期予習の仕方	48
< 8 > [高3] 東大受験科・医学部受験科	49
< 9 > [高2] 年間授業法	50
< 10 > [高2] 高2特別課題	51
< 11 > [高2] 2A・3学期共通テスト対策	52
< 12 > [高2] 新高3クラス決定について	53
< 13 > [高2] 他教科について	54
< 14 > [高1α・高2α] 年間授業法	56
< 15 > オンライン受講について	57
< 16 > 夢の実現について	58

## 4 : 提出課題と年間スケジュール

< 1 > [高3] 提出課題	59
< 2 > [高2・高1] 提出課題	61
< 3 > [高2・高3] 特別確認事項	63
< 4 > 年間カリキュラム	64

## 5 : 進学指導と年間学習計画

< 1 > [高3] 進学指導重要ポイント	88
< 2 > [高3] 直前の過ごし方と「過去問」実施法	102

## 6 : 他教科の勉強法

< 1 > 「単位集中型・試験形式勉強法」のすすめ	145
< 2 > 他教科勉強法	147
< 3 > <b>英語・ペースメーカー主義</b> のすすめ	161
< 4 > 他教科推薦図書	168
< 5 > 過去問スケジュール表	171